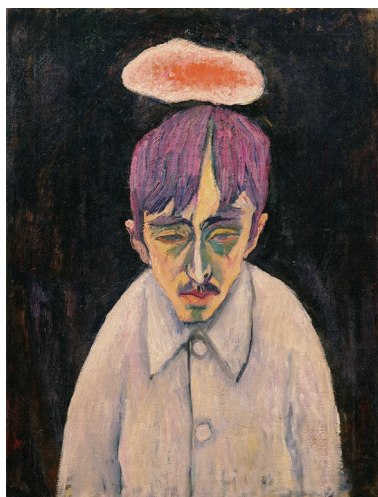


わが内なる自画像

# 萬鉄五郎 七変化 展

2013年11月30日（土）～2014年2月23日（日）



左《雲のある自画像》 油彩・画布 1912-13年  
岩手県立美術館

中《赤い目の自画像》 油彩・画布 1913年頃  
岩手県立美術館

右《赤マントの自画像》 油彩・画布 1912年  
個人蔵



日本近代絵画の先駆者として知られる萬鉄五郎は数多くの自画像を描きました。それらが描かれたのは、大きく2つの時期に集約されます。まずは美術学校卒業前後に描かれた作品群。そして郷里・土沢で制作に没頭した大正3年から5年かけて描かれた自画像群です。

様々な造形思考の実験のもとに描かれた萬の自画像には、異様ともいえる一種独特な「顔」があらわれます。本展では、油彩作品のほか素描もあわせ、その制作のプロセスを探るとともに、隠された思いに迫ります。

【休館日】 月曜日（祝日の場合は翌日）、  
12/29-1/3

【開館時間】 8:30～17:00（入館は16:30まで）

【入館料】 一般600円、高校・大学生350円、  
小・中学生250円

\*20名以上の団体各50円引

**参加募集!**

## 街かど美術館 アート@つちざわ〈土澤〉

会期／2014年10月11日(土)～11月9日(日) 30日間

会場／花巻市東和町土沢地区&晴山地区(商店街の店舗や空地、生活空間など60ヶ所を予定)

募集内容／次のいずれかの条件を満たす展示プランを募集します。

- ① 展示室間の魅力や特性を活かした作品
- ② 地域性にアプローチした作品
- ③ 住民とのコミュニケーションを意識した作品

募集人数／40名(組) ＊審査のうえ出展作家を決定します。

応募め切／2014年2月28日(金) 17時必着

問合せ／花巻市東和町土沢8-115 こつぼら土澤102号 土澤芸術商店ぶると内 事務局 tel.0198-29-5959

E-mail purupurupult@gmail.com <http://www.arttsuchizawa.com/>

**参加募集!**

## アート&クラフト〈土澤〉マーケット

アートや工芸、いろいろな手作りのお店を募集します!

期日／2014年5月3日(土・祝)～5月4日(日・祝) 10:00～16:00

場所／萬鉄五郎記念美術館前庭と土澤商店街  
(店先(軒下)や、公園・駐車場での展示・販売です)

- ◆A区画／5,000円(土澤商店街/中心エリア)
- ◆B区画／3,000円(土澤商店街/駅前エリア)
- ◆C区画／2,000円(萬鉄五郎記念美術館/前庭エリア)

※各地区とも、屋根・室内の場合は+2,000円

問合せ／花巻市東和町土沢5-405 キクヤ薬局 内 事務局 tel.0198-42-2632 fax.0198-42-2369

E-mail tuchizawa\_market@yahoo.co.jp <http://www.arttsuchizawa.com/>



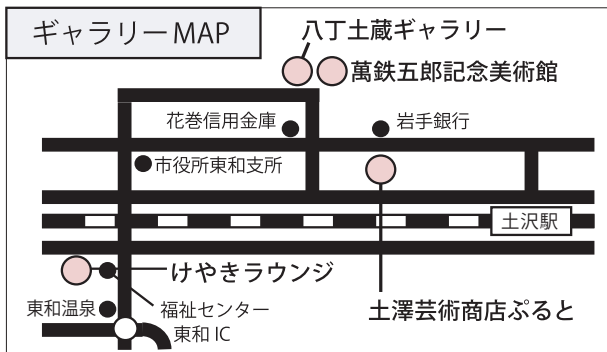
### 喫茶「八丁土蔵」

萬鉄五郎の自家「八丁」にあった土蔵を移築復元した、ギャラリーと喫茶スペースです。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。 営業時間：10:00～16:00 (lo.15:30)



## 美術の街「土沢」 ギャラリー情報

萬鉄五郎記念美術館とあわせて、「美術の街」土沢めぐりをしてみてはいかがでしょうか。



萬鉄五郎記念美術館

### 八丁土蔵ギャラリー

花巻市東和町土沢 5-135 萬鉄五郎記念美術館内

9:00-16:30 月曜休 (祝日は翌日)、12/29-1/3休 入場無料

iwate コンテンポラリーアート

宮沢賢治没後80年記念 雨ニモマケズ イーハトーヴの四季

### 松壁青樹 —宮沢賢治の世界— 展

2013年11月30日(土)～2014年2月23日(日)

宮沢賢治の童話や詩の世界を描いた作品。



### Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205

10:30～19:00 (最終日は16:00まで) 入場無料

けやきの会 2013 特別企画

### けやきチャリティ小品展

12月2日(月)  
～12月28日(土)

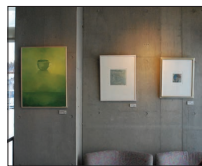
けやき運動の原点。歳末恒例の  
温まる小品を廉価で提供



### けやきの会コレクション展

1月4日(土)  
～1月31日(金)

珠玉の小品が並びます。  
自宅に絵を飾る喜びを  
共有したい。



### 土澤芸術商店ぷると

花巻市東和町土沢8-115 こつぼら土澤内 tel.0198-29-5959

11:00～17:00 日曜定休 入場無料

### 森越康雄 橋場あや 「岩手山」一点展

12月2日(月)  
～12月7日(土)

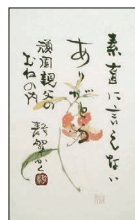
岩手山をモチーフに、全く  
違う作風の二人の展覧会



### 藤田静翠 書展

1月14日(火)  
～1月31日(金)

書家として20年目の節目をむ  
かえ、東和での初個展。



### スーラの 「分割主義」

このほど国立新美術館で、「印象派を超えて 点描の画家たち展」が開催された。クレラー・ミュージアム美術館（オランダ）所蔵作品を中心に、点描をテーマにスーラ、ゴッホからモンドリアンまでを集めた興味のある企画展であった。

ジョルジュ・スーラとポール・シニャックが、最後の印象派展となった第8回展（1886年）に、初めて出品し注目を集めた。スーラ、シニャックの作品にみられる、あまりにも明るすぎる斬新な傾向が、印象派の仲間からも出品させるかどうか意見が分かれたほどであった。丁度この年、ゴッホがオランダからパリにやって来た。これらの印象派、スーラの作品と出合ったことと浮世絵の影響で、色彩の明るさに開眼した。そしてスーラらの新しい絵画は評論家フェネオンによって「新

印象派」と名付けられた。その後、「色彩」自体がもつ「力」に目覚めたゴッホやマティスら20世紀の画家たちに大きな影響を及ぼした。

これら純粹色による「色調分割」「視覚混合」は、もともとモネら印象派が創り出した光の表現で、彼らが本能的な感覚で行ったことを、スーラは色彩や光に関する科学理論を研究、色彩の配色の実験を重ねて徹底して検証をした。

「色調分割」は、ある色を出すときパレットで絵の具を混ぜずに、点描的に原色をとり合わせて置く方法で、その方が色が濁らない。たとえば青と黄色の点描で紫にするように、近くで見ると鮮やかな色彩の粒にしか見えないものが、やや離れて見ることで原色が網膜で混じりあい紫の色調になる。網膜で混ぜることにより「視覚混合」と呼ばれる。モネらが行ったことを、後のスーラが更に徹底して、「分割主義」と呼ばれる独自の点描技法を生み出した。スーラとシニャックは、1884年に開かれた第1回アンデパンダン展で

出会った。シニャックは、スーラの熱烈な信奉者となり、31歳で早世したスーラの後継者として新印象主義を推進した。色の光に満ちた明るさ、彼らが行った色彩に対する新しい着想は、「色」がモノの再現を離れ、それ自体、自律性を獲得したことである。ゴッホは多くの作品に原色を使い点描で描いている。その点描はゴッホタッチといわれる細長い線の点描で、色の力によって内面を表出した。

萬鉄五郎は、美校卒業後（1912年）に、フォビスム、表現主義や未来派などに果敢に挑戦、多くの斬新な自画像を描いた中に『点描風の自画像』がある。己を真正面に見つめて描いた、赤、青、黄色など豊富な点描の光の渦は、魂の鼓動のようである。

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀



萬鉄五郎《点描風の自画像》  
油彩・画布 1912年頃 岩手県立美術館